

# 公共事業の繁閑の差を埋めるスポット勤務による高齢者雇用の確保 坂川建設鋳業株式会社

## I 会社概要

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 本社所在地              | 岡山県井原市            |
| 設立年                | 1973年（昭和48年）      |
| 事業の種類<br>具体的事業内容   | 総合工事業<br>一般土木、舗装等 |
| 従業員数<br>55歳以上の高齢者率 | 32名<br>50.0%      |
| 定年年齢               | 65歳               |
| 継続雇用制度             | —                 |

坂川建設鋳業(株)が立地する井原市美星町(びせいちょう)は、岡山県吉備高原の南部に位置している(美星町は、平成17年に井原市に編入)。同社は、昭和44年1月創業(昭和48年3月設立)で、これまで主として、一般土木、舗装、水道工事などの公共工事を中心に事業を発展させてきたが、公共工事の需要減少などの環境変化への適応を迫られている。これまでも、産業廃棄物中間処理業、



本社外観

造園業、運送業などの多角化を図ってきたが、平成20年より、雇用確保の観点から、新事業として薪と薪ストーブを取り扱う「星の薪工房」を発足させている。これは、同社が立地する美星町の地元資源を活用しつつ地域社会に貢献できる新規事業を模索していたところ、森林組合が薪の取扱いを外部に委託していることから、地元森林組合と連携を図り、始めた事業である。事業の開始に当たっては、最近の約10年間で薪ストーブの需要が約2倍に増加していることに加え、経営者や会社が所有する山林から薪の産出が可能であったことなどを考慮した。同社にとっては、閑散期用の仕事確保になり、公共事業の繁閑の差を埋めるなどの雇用の確保にもつながっているほか、薪ストーブの設置工事と併せることにより、顧客とのパイプを築き、リフォームや造園などの受注工事につなげていくことも期待されている。また、化石燃料ではない薪の生産・加工・販売を行う環境を考慮した事業であり、経営者や企業が所有する山林などの有効利用を進めることができている。

## II 雇用の概況

現在32名の従業員が在籍しており、その内訳は次のようになっている。

| 合計     | 44歳以下 | 45～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70歳以上 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 32名    | 15名   | 1名     | 9名     | 4名     | 3名     | 0名    |
| 100.0% | 46.9% | 3.1%   | 28.1%  | 12.5%  | 9.4%   | 0%    |

上記の表のとおり年齢構成であるが、公共需要や景気低迷の関係で、一時期、採用できなかった時期があるため、45歳～54歳の年齢層が1名だと少なくなっており、年齢構成のバランスに偏りがあり、課題として認識されている。同社はかねてより、65歳への定年引上げを実施しており、総数32名の内、55歳以上の高齢者は16名で、比率にして5割を占めている。経営者は、60歳以上の従業員の能力や経験を高く評価しており、むしろ60歳で辞めさせるのはもったいないと考えている。このため、今後も、これら高齢者の能力や経験を活用していく方針である。

### Ⅲ 制度導入の背景及び制度の紹介

かつて需要の大幅な減少のため、雇用確保が困難な時期があり、新事業の開拓など事業の多角化などを進め、雇用の確保に努めた。この時期に、高齢者の雇用確保と高齢者の体力面の考慮の両立を図る目的で、平成17年1月からスポット勤務を導入した。これらの就業形態に係る名称を特に定めているものではないが、既に導入後、5年以上経過し定着している。ワークシェアリングにより、勤務時間についても柔軟な対応を可能とし、自由度の高い勤務制度となっている。

これまでの事業の多角化により、工事部（舗装部、土木部、解体部、造園部、水道事業部）の他、運送事業、産業廃棄物処理関連（がれき類再生プラント、木くず処理プラント、収集運搬業）、資材販売（再生クラッシャーラン、再生路盤材の販売）などにも取り組んでいる。これに加えて、平成20年には「星の薪工房」と銘打った薪と薪ストーブを取り扱う新事業部を発足しており、それぞれの事業の中の高齢者に適した職種への人員配置を行っている。



「星の郷」井原市美星町に豊富にあるクワ・クヌギを用いた「星の薪」



柔らかい暖かさが特徴の薪ストーブ

### Ⅳ 高齢者雇用の実態

経営者自身が従業員とのコミュニケーションを日頃から密にすることにより、中小企業ならではの、小回りが効く組織となるよう、日常から心掛けている。

| 部門     | 部        | 60歳以上の従業員の職種           |
|--------|----------|------------------------|
| 工事部門   | ・ 舗装部    | 営業（1名）<br>重機操作、その他（3名） |
|        | ・ 土木部    |                        |
|        | ・ 解体部    |                        |
|        | ・ 造園部    |                        |
|        | ・ 水道事業部  |                        |
| 運送事業部門 | ・ トラック運送 |                        |

|             |                                     |                           |
|-------------|-------------------------------------|---------------------------|
| 産業廃棄物処理関連部門 | ・がれき類再生プラント<br>・木くず処理プラント<br>・収集運搬業 | 分別などの簡易作業（1名）             |
| 資材販売部門      | ・再生クラッシャーラン、<br>・再生路盤材の販売           |                           |
| 薪ストーブ事業部門   | ・星の薪工房                              | 薪割り（省力化機使用）・棧（さん）積みなど（2名） |

|              |                           |                         |
|--------------|---------------------------|-------------------------|
| 土質改良事業（新規事業） | 乳酸発酵竹パウダー生産とこれを利用した土質改良事業 | 高齢者（60歳以上）の雇用確保、2～3名を予定 |
|--------------|---------------------------|-------------------------|

スポット勤務の利用者は、高齢者に限定せず、従業員の希望や事情に応じ、利用可能としている。利用者は、フルタイム勤務時と比べ、心理的に気兼ねなく、出勤日の変更を申し出ることができるようになったという声がある。また、高齢者にとっては、勤務日数が少なくなり、休日を挟むことで、体調維持と共に、勤労のモチベーションが向上するなどの効果が生まれている。不就労時間は無給となるが、従来のように休暇の申請に必要以上に気を使うことがないため、経済面より生活重視の価値観をもつ個人には好評である。現在のところ、若年層の適用は無いが、勤務形態の柔軟化は、仕事の形式より、実質を重視するという、経営者が望む組織風土の形成に役立っている。

同社では、さらに新規事業として、地域に豊富に存在する竹資源を利用した農地の土質改良事業を計画している。これは、竹を粉状に粉碎した竹パウダーを密閉し、竹に含まれる乳酸菌の嫌気性発酵を促進させた成分を利用して土質改良を行うものである。現在、竹の粉碎機を導入し、同社の強みである土木技術を活用した土質改良サービスの取り組みも検討している。省力化機器を利用した軽作業のため、高齢者にも適した仕事になる予定である。



薪ストーブ事業省力化の取り組み



薪割り用に工夫した機械



新規事業（土質改良事業）の取り組み



製造した竹パウダー

## V 今後の課題

現在、同社は65歳定年制であるものの65歳以降の継続雇用制度は未導入である。高齢者の雇用に関しては、新たな事業の開拓による雇用確保を行うと同時に自動化や省力化などの設備投資を進め、高齢者が働きやすい職場環境づくり、職場改善の取り組みを通じて、全体として生産性向上を図り、助成金等を活用しつつ、65歳以降70歳以上までの継続雇用制度導入を検討している。

なお、同社では、竹などの地域資源を活用した土質改良事業など、既存事業とシナジー効果を持つ新規事業のアイデアを温めており、これらの事業が順調に育てば、高齢者の雇用創出につながることを期待されている。

執筆者

高年齢者雇用アドバイザー 國米 泰弘